

こども

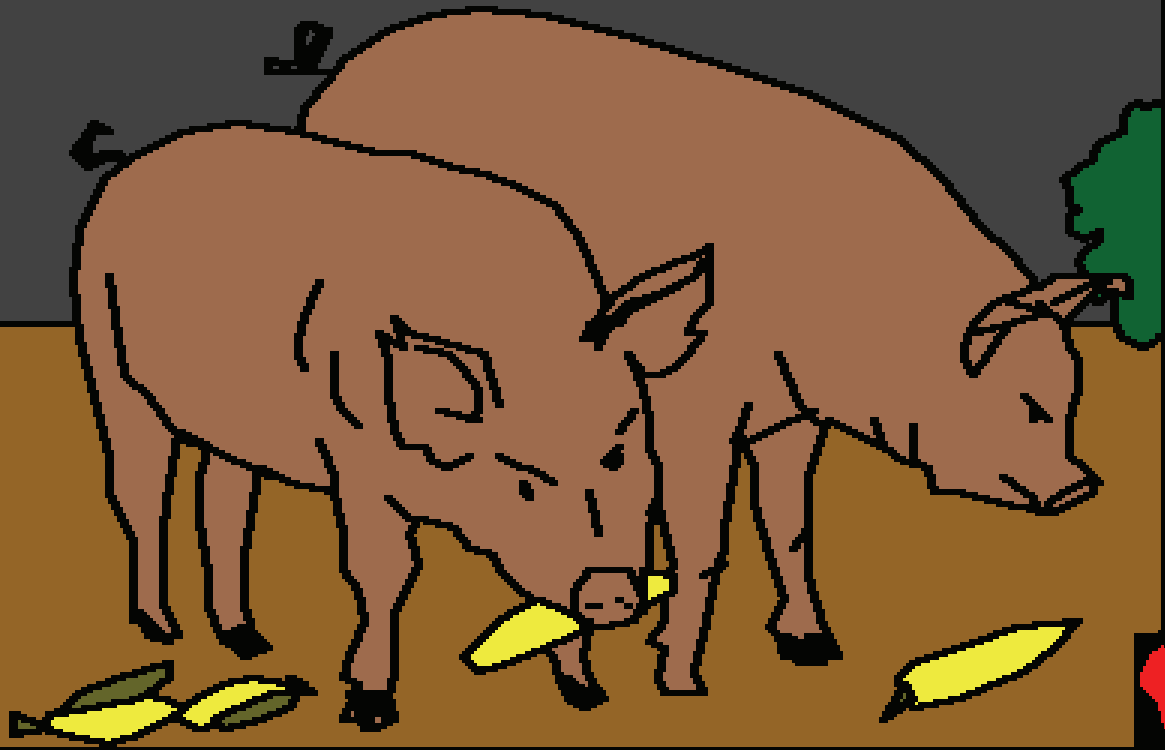
子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

かえ

帰ってきた むすこ



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Lazarus

かいさくしゃ
改作者: Ruth Klassen; Sarah S.

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。





かみ ゆる
イエスは神さまの赦しについて、
ひとびと はな だいす
人々にお話されるのが、大好きでし
た。けれど、ユダヤ教 会きょうかいの指導者しどうしゃ
たちは、イエスが罪人たちと仲良く
するふまんことを不満おもに思っていました。
そこで、イエスはそのことを教えるおし
ために、3つの物 語ものがたりを話されまし
た。ひと人がたとえまちがったことをし
ても、自分の失敗じぶんに気づきしっばい、ごめん
なさいとあやまったとき、神さまはかみ
とても喜よろこばれるのです。



ものがたり

びき ひつじ か

おとこ ひと はなし

1つめの物語は、100匹の羊を飼っていた、男のお話

びき ひつじ

でした。1匹の羊がいなく

なりました。すぐさま、

ひつじか

ひき ひつじ

のこ

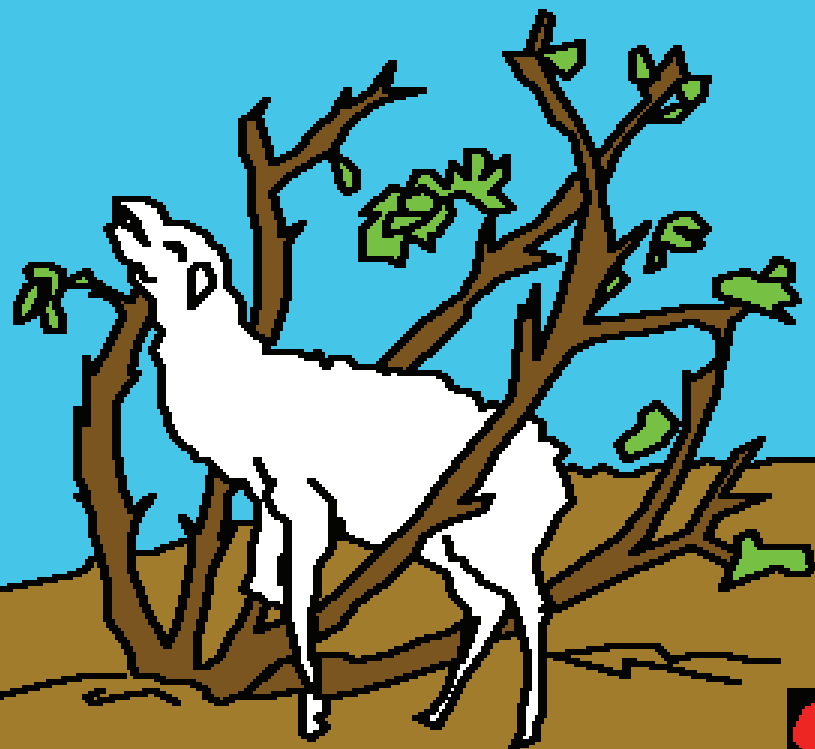
まいご ひつじ

その羊飼いは99匹の羊

を残して、その迷子の羊をさ

で

がしに出かけました。





ひつじか まいご ひつじ み
その羊飼いは、迷子の羊が見つかるまで、さがして、さがして、さが
しまわりました。やっと、羊を見つ
けた羊飼いは、その羊を肩にのせ
て、うれしそうに、家につれて帰
りました。そして、友だちに言いま
した。「いなくなっていた羊が、見
つけたので、いっしょに喜んで
ください。」



ひと わる

イエスは、人が悪いことをしてしまっ

き く あらた はんせい

たことに気づいて、悔い改めた（反省

てん おお よろこ

した）ときに、天に大きな喜びが、

わきかえることを、わかりやす

はな く あらた

く話されました。悔い改める

い み じぶん

という意味は、自分のして

しまった、まちがいをあや

わる

まることです。悪いこと

をするのを、きっぱりとや

い

めて、ごめんなさいと言う

よ

だけで良いのです。





つぎ ものがたり まい
イエスの次の物語は、10枚の
ぎんか も おんな ひと はなし
銀貨を持っていた、女の人の話
かね
でした。そのお金は、きっとその
ひと いっしょう かね
人が、一生かけてためたお金にち
たいへん
がいありません。大変なことがお
かのじよ まい ぎんか
こりました。彼女は1枚の銀貨を
なくしてしまいました。



かのじょ

ぎんか み

ついに、彼女はなくした銀貨を見つけました。

かのじょ しあわ

おんな

彼女は幸せいっぱいでした。いったいその女

ひと

おも

とも

の人はどうしたと思う？ そう、お友だち、み

み

はな

んなに見つかったことを話しました。





また、イエスは話されま
した。「ひとりの罪人(悪
いことをした人)が、罪を
悔い改めて神のもとに
帰ったとき、神の天使た
ちに、とても大きな喜び
がわき起こるのです。」



はな

ものがたり

イエスが話された3つめの物語は、

いちばんかな

とう

一番悲しいものでした。それは、お父

いえで

さんのところから、家出をしてしまっ

しょうねん はなし

た、少年の話でした。



いえ　　とう　　はな　　　　　　　　くに　　しょうねん　　　　　　　　かね　　ぜんぶ
家から遠く離れてしまった国で、少年はつまらないことに、お金を全部つかい

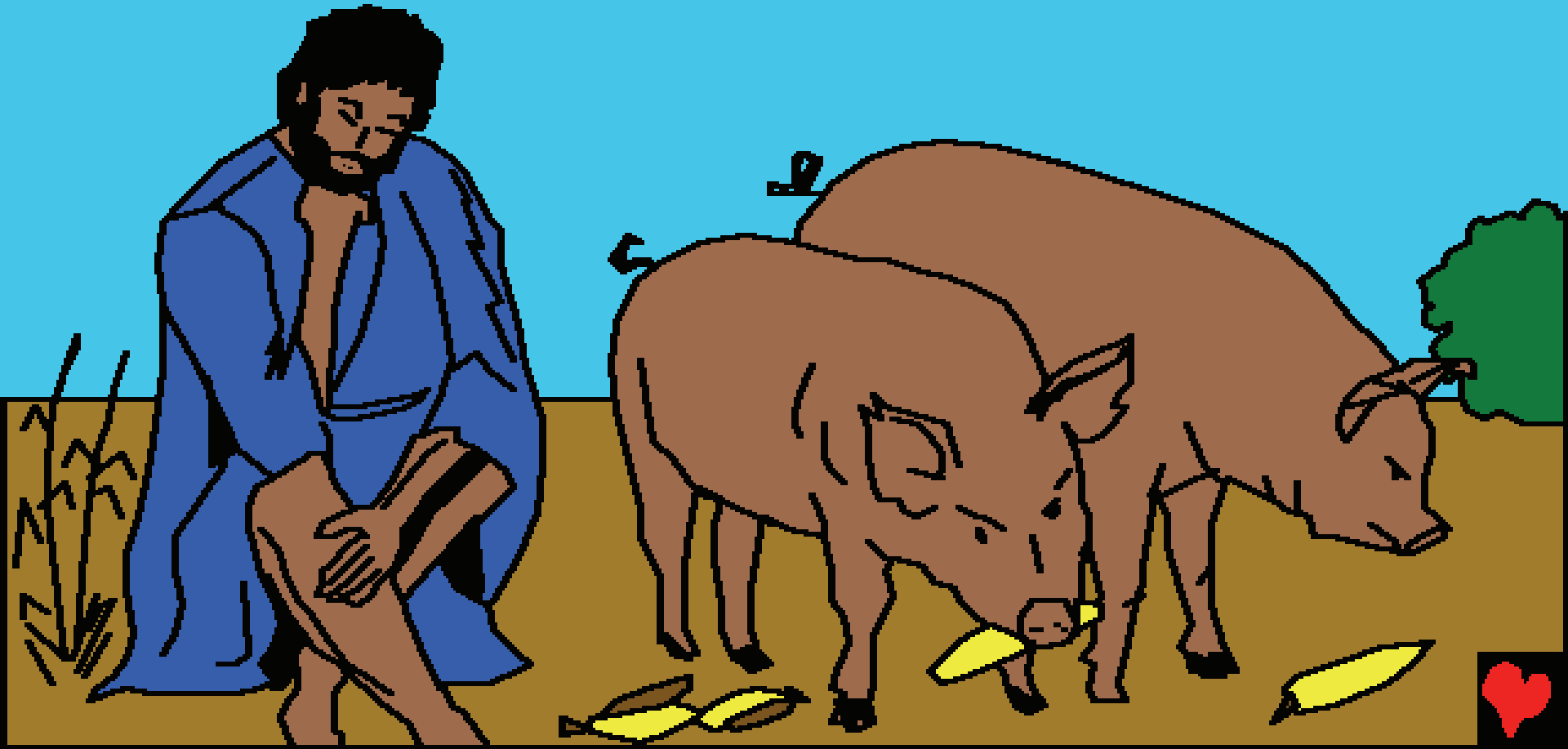
はたしてしまいました。さあ、その少年は、いったい、どうするのでしょうか。

うえ　　わる　　　　　　　　ききん　　　　　　　　しょうねん
その上、もっと悪いことには、飢饉がやってきました。少年はおなかがすい

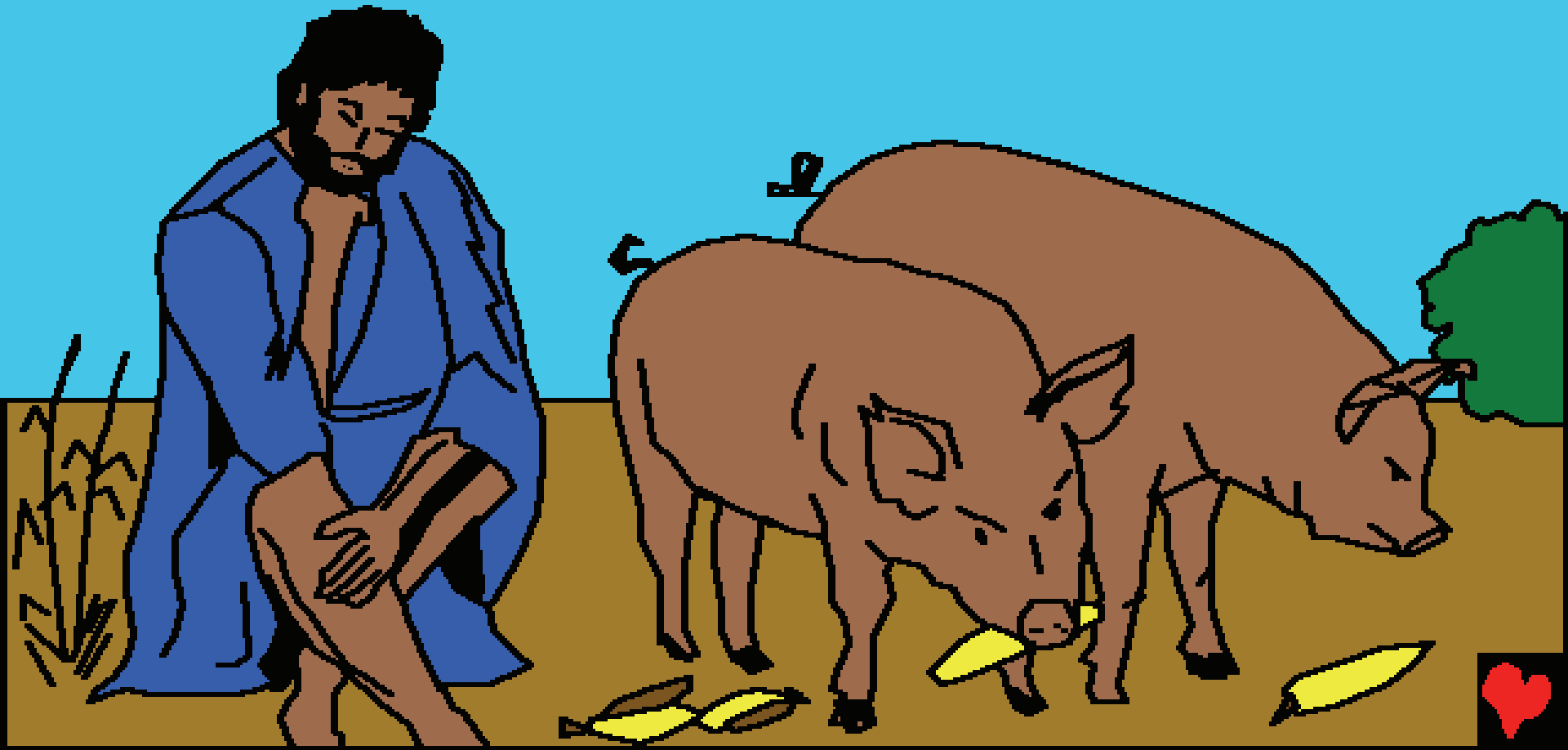
し
て、死にそうでした。

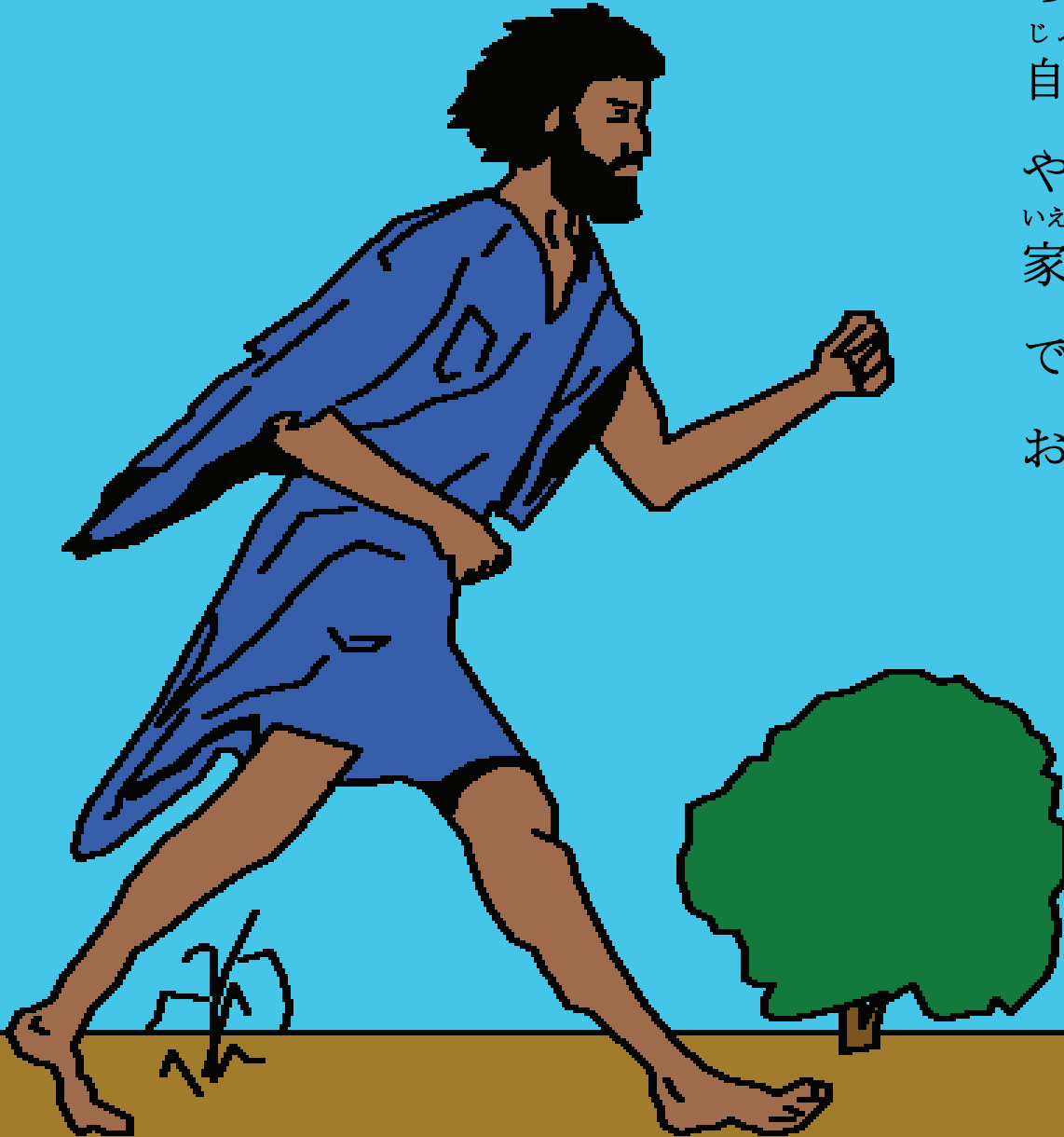


おなかがすいて、やけっぱちになった少年は、豚の世話をする仕事につきました。
た。けれど、だれひとり、少年に食べ物をくれませんでした。彼は豚のえさを、
食べてしまいたいほどでした。もしかすると、食べてしまったかもしれません。



しょうねん じぶん き
ついに、少年は、自分のしてしまったあやまちに、やっと気づきました。「そう
いえ かえ とう はたら ひと た
だ、家に帰ろう。お父さんのところで働いている人でさえ、おなかいっぱい食
べている。」と彼は思いました。





しょうねん
ついに、少年は、
じぶん
自分のしてしまったあやまちに、
き
やっと気づきました。「そうだ、
いえ かえ どう
家に帰ろう。お父さんのところ
はたら ひと
で働いている人でさえ、
た
おなかいっぱい食べている。」
かれ おも
と彼は思いました。
いえ かえ
「やっぱり、家に帰ろう。」





とう
そして、お父さんに、
ぼく わる
僕のしてしまった悪いことを、
きちんとあやまろう。きっと、
ぼく とう むすこ
もう僕はお父さんの息子としての
しかく
資格はないだろう。 だけど、
ぼく はたら ひと
僕をそ こで働く人にやとってもらえたらいいのだけど・・・。」



いえ 　とお　はな 　とう 　かえ 　しょうねん
まだ、家からはずいぶん遠く離れていたのに、お父さんは、帰ってくる少年
はや　み 　よろこ 　ちちおや 　ま
をいち早く見つけました。喜びいさんだ父親はもう待ちきれずに、もどって
く　むすこ　はし　い 　とう 　しょうねん
来る息子に走りよって行きました。お父さんは少年にキスを
つよ　だ
して、そしてぎゅっと強く抱きし
めました。





「お父さん。僕は^{ぼく}大変な^{たいへん}まちが
いをしてしまいました。僕は、
もうお父さんの息子としての^{とう}
^{むすこ}
値打ち^{ねう}はありません。」少年^{しょうねん}
は、お父さんに、使用人とし^{とう}
^{しょうにん}
て、働^{はたら}かせてくださいと言おう
としました。けれど、お父さん
は、それを^{さいご}最後まで^い言わせませ
^{わたし} ^{むすこ} ^{いちばん} ^よ
うでした。私の息子に、一番良
^{きもの} ^{くつ} ^{ゆびわ} ^も
い着物と、靴と指輪を持ってき
なさい。そして、盛大な^{せいだい}パー
^{じゅんぴ}
ティーの準備をしなさい。



それは、とってもすばらしいパーティーでした。
だって、いなくなっていた息子が見つかったのです

むすこ み

わる

から。悪いことをしたけれど、

く あらた はんせい

悔い改めて（反省して）、

かみ かえ

神さまのもとに帰ってきた

ひと かみ よろこ

人を、神さまは喜んで、

むか

い

迎えて入れてくださることを、

おし

わかりやすく教えるために、

ものがたり

イエスはこの物語を

はな

話されました。



かえ
帰ってきた むすこ

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

ルカ 15 しょう
章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ わたし かみ
けれども、神さまは、あなたをととても愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ つみ し
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
わたし なか き つみ わたし いま
いらっしやいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
いのち ところ い
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

